

JMまんだら図ALL2020版

G 仕事の出来る人の条件	C 事業の目標Ⅰ	H 社会の変化を知る
①時間を管理する ②果たすべき貢献に焦点を合わせる〈成果の三領域(定量的・定性的・人材育成的)〉 ■コミュニケーション ■チームワーク ③強みを基盤にする ④集中する ⑤意思決定を行う ■フィードバック分析 ■自己革新・成長 『経営者の条件』『プロフェッショナルの条件』『明日を支配するもの』『非営	①マーケティング☆ ②イノベーション☆ ③生産性☆ ④資源(人、もの)と資金☆ ⑤利益☆ ⑥経営管理者の仕事ぶりと育成 ⑦一般従業員の仕事ぶりと行動 ⑧社会的責任☆ ※自己目標管理は「人間というものが責任、貢献、自己実現を欲する存在である」と前提する。『現代の経営』	①知識社会 ②組織社会 ③情報ネットワーク社会 ④多元社会 ⑤ポストモダンの社会 ⑥グローバル社会 ⑦組み合わせ自在の社会 ⑧NP0社会 『ポスト資本主義社会』『新しい現実』『理想企業を目指して』『明日を支配するもの』『断絶の時代』『プロフェッショナルの条件』
B 事業を創造する	1 統合人間学マネジメント	D 事業の目標Ⅱ
①企業の現実を知る ②業績をもたらす領域 ③事業を分析する ④顧客・知識が事業である ⑤機会に焦点を合わせる ⑥未来を今日築く ⑦事業の業績をあげる ⑧事業を定義する(三つの要素) ※事業とは知識を経済価値に転換させるプロセスである。(『創造する経営者』『実践する経営者』『ドロッカー入門』・Dサポート資料)	「自己組織性」に基づく ≪おかげさまです思考法≫ ①全体を生かし部分を生かす ②「無知の知」を知る ③問題は価値を生む源泉である ※以上の三つを順番に回す思考法 ≪雨にも負けず、日々新た≫ □マズロー図十龍の話(自己実現) □修得は「守・破・離」 □実現は「理想・信念・行動」 □実践は「仮説・試行・検証」 □検証は「理証・文証・現証」	≪富の創出能力☆の向上≫ ①マーケティング☆ ②イノベーション☆ ③人☆ ④資金☆ ⑤もの☆ ⑥生産性☆ ⑦社会的責任☆ ⑧利益☆ ※組織とは、個としての人間一人ひとりに対して、また社会を構成する一人ひとりの人間に対して、何らかの貢献を行わせ、自己実現させるた
F 自社に合う経営戦略	A トップに贈る五つの質問	E チェンジリーダーになる
①経営戦略の前提 ②顧客創造戦略 ③虚と実の戦略 ④すきま戦略 ⑤総力戦略 ⑥コラボレーション戦略 ⑦個別顧客戦略 ⑧成長戦略 『イノベーションと起業家精神』『明日を支配するもの』『創造する経営者』『理想企業を目指して』『実践する経営者』『現代の経営』『マネジメント』	①われわれのミッション(使命・目的・志)は何か「機会・強み・価値観」に合っているか ②われわれの顧客は誰か ③顧客にとっての価値は何か ④われわれの成果は何か ⑤計画は何か ■マネジメントとその役割 ■ベンチャーM五つの心得(トップマネジメントチームづくりなど) ■リーダーの資質と役割 『経営者に贈る五つの質問・明日を支配するもの・ドロッカー入門・マネジメント・	①チェンジリーダーへの手法 ■体系的廃棄■継続的改善 ■成功の応用と展開 ②イノベーション七つの機会 ③三つのタブー ④チェンジリーダーの手順 ⑤チェンジリーダーの予算 ⑥変化と継続性の調和に配慮 ⑦明日を創造する 『明日を支配するもの』『イノベーションと起業家精神』

※マンドラチャートは、松村寧雄氏(株クローバー経営研究所)によって開発されたものです。

※無断での複写および利用は禁止しております。統合マネジメント『日新塾』